

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 5日

事業所名 おおいちフォア・アス2単位目

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	障害特性に応じて個別スペースを設けて対応できるようにしている。	学習スペースがもう少し広いほうが望ましい。
	2 職員の配置数は適切である	33%	67%	職員が不足している場合は、随時募集をしている。	規定人員配置は満たしているが、同性介助をするにあたって女性職員が足りない場合がある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	貸しビルのため改築が難しい部分があるが、必ず職員が転倒等の事故がないよう見守っている。	階段の高さが違う場所がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	83%	17%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員配置に考慮しつつ極力研修の機会を確保している。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	50%	50%	モニタリングと評価をおこない保護者に説明をして計画を立てている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	17%	83%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%		利用者同士の相性や特性を考慮して活動を考えている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	67%	33%		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	毎回行っている。学校や家庭からの情報も共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	17%	83%	支援開始前に、情報共有するためにその日の職員全員で会議をしている。	支援終了後に打合せはないが、各職員が報告したいことを話している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	50%	50%		後後に書くこともあり、細部が思い出せないこともある。記録が取れていない日がある。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	33%	67%		地域との交流がうまくできていない。それ以外は、組み合わせ合わせて支援できている。	
関係機関	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	67%	33%	担当を決めて出席している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	33%	送迎時や、学校からのプリントや、保護者からの連絡などで、適切に対応するよう努めている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	33%	67%	基本的には保護者からの情報をもとに支援しているが、必要に応じて、保護者の許可を得て、Drに連絡をすることがある。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%	直接なかかわりは少ないが、必要に応じて相談員を通して情報を得ることもある。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%		今まで依頼がないので行っていないが、あれば応じたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後取り組んで行きたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%		可能な限り参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	17%	連絡帳や送迎時に保護者と今日の活動等を話すことで情報交換している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	17%	83%		今後取り組んで行きたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%		入り口に重要事項説明書は貼ってあるが、一人ひとり丁寧にはできていない。支援内容については、見学時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	50%	50%	連絡帳や送迎時に保護者と今日の活動等を話すことで情報交換し、必要に応じてアドバイス等をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	17%	その都度職員間で話し合い、対応を検討し、迅速かつ丁寧に行っている。必ず記録に残している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	「伝書鳩」等で定期的に活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	「画像許可書」等で確認を取り十分注意しながら行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	83%	17%	相談員からの情報をもとにそれぞれの家庭の状況に合わせて行っている	相手によって伝わるであろう表現に変えて話をしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%			
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	33%	67%		職員間では、保管場所を決めて各自が常時確認できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	子どもたちにわかりやすく「紙芝居」を使って説明している。	定期的に訓練を行っている。避難先や流れの確認、訓練などを行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	67%	33%	定期的に「虐待防止チェックシート」を怒んあっている。年3回虐待防止協議会を開いている。	全くないということではないが、十分と言えるほどではない。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	33%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%		保護者からの情報で把握している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%			